

## 第4回二戸市総合計画審議会 議事録（要旨）

開催日時：令和3年2月4日（木）午前10時30分～11時55分

会場：二戸市民文化会館中ホール

### 【出席委員（敬称略）】

久慈 浩、長葭常紀、川上 隆、中田勇司、生内雄二、佐々木春彦、高橋美佐子、浪岡幸子、一本木哲男、坂本敏美、高橋英司、戸来守和、古里政志、太田郁夫、成田耕一郎、青谷耕成、澤村郁子、大建ももこ、野崎芳宏、黒沢一史、小保内威彦、佐々木千聡、小軽米健太、下斗米佑太

### 【説明のため出席した職員】

藤原淳市長、大沢治副市長、鳩岡矩雄教育長、田中館淳一総合政策部長、久慈清隆総務部長、小野一浩健康福祉部長、佐藤春彦産業振興部長、石村一洋建設整備部長、山本進浄法寺総合支所長、玉懸邦将教育部長、工藤博幸総合政策部副部長兼政策推進課長

### 【会議の概要】

◎開会に先立ち、欠席委員の報告

#### 1. 開会

#### 2. 市長あいさつ

皆さん、おはようございます。本日は大変お忙しい中、総合計画審議会にご出席いただき、ありがとうございます。昨年2月に横浜港に停泊したダイヤモンド・プリンセス号が発端となり発生した新型コロナウイルスは、あっという間に日本中に蔓延し、安全や安心はもとより、産業や経済を大きな混乱に陥れました。今、新型コロナのワクチン接種に向けて、体制の整備を進めることが全国自治体の課題となっています。医療、福祉関係の皆様におかれましては、本当に大変な思いをされていることともいます。さて、当審議会につきましても本日、答申をいただくこととしておりますが、これまで当審議会でもいただいたご意見や、ワークショップ、団体ヒアリング、議会等でのご意見をいただき、計画をまとめてきたところであり、皆様には深く感謝申し上げます。また、多くの計画をつくりましたが、厳しい現実が待っていることとも思います。4つの視点ということもお話ししました。新型コロナやSDGs、ソサエティ5.0、そして限られた財源での行財政運営といったところがあります。厳しい中でも計画に挙げております「30年後の未来像」を目指すとき、まずは日々の積み重ねが大事だと思います。その積み重ねによって、計画に掲げたものが開けてくると思いますし、まずは自分の足元を固めながら、皆さんとともに、新しいまちづくりに取り組んでいかなければならないと思っております。本日答申をいただくこととなりますが、審議会委員の皆様、ワークショップ等に参加いただいた皆様も、これからのまちづくりに参加いただきながら、二戸市の未来に向かって進んでいきたいと思っております。本日は、よろしくお願いたします。

#### 3. 議事

○久慈会長

それでは、引き続き議事を進めてまいります。委員の皆さんのご協力をお願いします。

議事の（1）第2次二戸市総合計画後期基本計画（案）の答申と、（2）第2期二戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、これまで皆さんに審議していただいた内容となるので、一括で協議する。まずは最終案について説明願います。

（総合政策部長、議案説明）

○久慈会長

ただいま、説明があった。本案はこれまでの審議会やワークショップ等を踏まえてまとめてもらった。

委員の皆さんから、どのようなことでも結構なので、率直なご意見や感想などご発言いただきたい。

◇生内委員

この計画を次は議会に提案するということが、「本当にできるのか」というようなことを聞かれるかもし

れない。ここまで審議して決めた計画なので、必ず通すという決意をもってのぞんでほしい。また、ここにいる行政側の皆さんは、5年後はほとんどいないと思う。ぜひ、異動等で担当者が代わっても、必ず実行するという考え方を持って進めるようにしていただきたい。そして、市民の皆さんに対しても理解してもらおうということを大事にしていきたい。

□副市長

これまで、さまざまな機会でご意見等いただいていた。10年間の計画の後期5年間については、前期で取り組んだものをしっかりと進めるとともに、新しい視点を加えながら着実に取り組んでまいりたい。総合計画は、10年間の基本構想と5年ごとの基本計画、さらにアクションプランならびに実施計画を策定し、毎年見直しを図りながら、市の財政状況や社会情勢の変化をふまえ、柔軟かつ着実に推進してまいりたい。また、人づくりと公民連携という共通政策を掲げ、今後のまちづくりに向けて、地域や事業所、団体などの皆様と一緒に進んでいかなければならない。さらに、役所の組織内においても人づくりを進め、将来のまちづくりに向けてしっかりと進めていきたいと思うので、今後ともよろしくお願ひします。

○久慈会長

ただいま副市長から今後しっかりと進めていくといったお話があったが、5年後、最初からということがないようにお願いしたい。他にご意見、ご質問はないか。

◇中田委員

「岩手経済研究」という冊子に、県北の観光客が右肩下がり、特に二戸市が下がっているという記事を読んだ。観光協会として大きな責任を痛感しているところ。二戸市には漆やテロワールなどの取り組みがあり、形として 味わう体験を提供しようとしているのだが、何が足りないか考えたとき、熱量ではないかと思っている。ペーパーに書いて表すことはできるが、どのようにしてもっと展開や発信を行うかだと思う。少人数でもおもてなしができるよう、熱を伝えるという点では、まだ他より弱いのかなと思っている。例えばチョコ南部のように革新的な商品を製造するための工場を、お客さんが立ち寄る拠点として一企業が作ったことはとても大きいと思う。そのような観光の拠点や発信力が、二戸市はまだ弱い。小さい特徴をこれだとして、大きな太い柱に育てていかなければならない。熱を伝えるというところでは、各分野においても同じことが言えるのではないか。それから、またカーリングの話になるが、来週、日本選手権がテレビで生放送される。苫米地賢司選手とともに、小学5年生の松原君という選手が、大人と戦う。来年の五輪出場権を決める大事な大会でもあるので、地域とつながるゆかりの選手の活躍をぜひ応援してほしい。

○久慈会長

観光分野やカーリングなどについてのご意見だった。関連など、他にご意見はないか。

◇小軽米委員

短期間で仕上げていただき、ありがとうございます。私は第1回の審議会からずっと、「最高に古くて最高に新しい」ということで、テクノロジーの活用があらゆる課題を解決すると申し上げてきた。「4つの視点」でもソサエティ5.0について記載されているが、仕事や子育て、暮らし、すべての課題に生かされていくことが重要。また冒頭、市長あいさつにも30年後の未来だけを見ずえるのでは一步一步向かうことが大事だというお話があったが、私もまさにそう思っており、そのためにも、市全体のイメージをなるべく早く打ち出す必要がある。色のような統一感があるといいと思う。そうすると、企業もその色に合わせて直していくと思うので、市がイメージなどを示していくというのも必要ではないかと思う。また、これまで一生懸命意見を述べてきたが、それがどういうふうにと落ちてしまってきたか、行政側の反応がほしいところ。共通政策に公民連携を掲げるのであればなおさら、どう生かされていくかがわかるようにしてほしい。

○久慈会長

のちほど、行政側からも答弁を求めたいと思う。他に、ご意見はないか。

◇青谷委員

先ほどチョコ南部の話題をいただいたので少しお話しさせていただくが、私の会社では「南部せんべいの里」として、「四季の里」や、かつて定年退職をした社員にお願いしていた「せんべい茶屋」を改装した「小松シキ記念館」などにより、青森に負けずに売り出そうと会長が始めたところ、対前年比10倍ものお客さんが来てくれた。表現のしかた次第で10倍にもなるのだと実感したが、それが多く感じるか、まだまだ感じるかということが重要だと思っている。また、自社だけでお客さんを獲得しようとするのではなく、2doorで開催したイベントには、権七園さんや荒谷果樹園さん、二戸パークホテルさんにも出店していただ

き、漆のまつりも行いましたし、またカシオペア FM の生放送も行うなど、二戸地域の皆さんと一緒にやってきた。二戸の熱を持って表現をすれば、10 倍よりもっと広がっていくと思う。また、一市民としての意見として、今回の計画には新型コロナ対応とソサエティ 5.0 についての視点を取り入れていただいたのはよかったと思っている。ソサエティ 4.0 がネット社会の推進を指し、そこからさらにデジタル・トランスフォーメーションを取り入れることができれば、第一次産業の高齢化などもカバーできるし、シームレスにいいところが自動的に伝わっていくと思う。私は「このへみらいカフェ」でもこの話をしてきたが、その意見が盛り込まれていると思う。あとは実行に移すよう、皆さんで盛り上げていけたらと考える。

#### ◇大建委員

実感としてお話しできれば。人口の目標「2045 年までに 2 万人」について、その 2 万人のうちの 1 人が今、おなかにいるが、県立二戸病院に通院していると、二戸地区だけでなく、久慈市や青森県南からも妊婦さんが通院している。また、今回の妊娠に伴い外来で診てもらおうとしたが、緊急手術などにより診られないとなり、3 回目ようやく診てみらった。このような状況では、遠方から来る人はもっとつらいと思った。近くに病院がないからここに行くしかないという状況で、さらに新型コロナも重なり、先生も過酷な環境にあるだろうと思っている。この状況がもう少し改善されていくと、二戸で出産したいという人ももっと増えていくのではないかな。また、先ほど観光客の減少の話題があったが、金田一温泉でも、泊まりにきてても次の日には二戸を回らない人が多いので、何とかそれを食い止めたいと思い、漆器で食事を提供するなど工夫してみた。また去年は、コロナによる営業自粛期間にゼロから見直し、ここに来ないと味わえないような内容になるよう皆で考え、先ほど中田委員がお話ししたような「熱量」を持って、次の日に市内を回ってもらえるよう工夫している。点と点で結ぶと、どうしても車で長距離の移動になってしまうので、その辺を工夫することが課題になってくる。いずれ、子どもが大きくなったときに、このまちに住んで、良くしていきたいと思ってもらえるまちになってほしいと思っている。

#### ○久慈会長

関連してご意見等ありますか。なければここで、行政側からの回答があれば。

#### □総合政策部長

たくさんのご意見、ありがとうございます。ご案内のとおり総合計画は市の最上位計画であり、その下に個別の施策に係る計画が繋がってくる。それらの計画の策定にあたっては、ここにいる審議委員の皆さんに入ってもらっているが、これらすべての計画が組み合わされて総合計画の未来像が実現する。そのためには、役所だけでなく民間の皆さんと一緒に進めていく必要があるため、「公民連携」を掲げることとした。これが、地方創生への力にもなると思うし、そのためにも、総合戦略を策定して有効な財源を確保しながら、優先順位を考えて各施策を推進していく必要があるとともに、後期基本計画での「4 つの視点」を盛り込み、新型コロナによって激変した状況や、それに伴う今後の国の財政状況などもしっかりと見すえ、柔軟に対応していきたい。観光振興については、いかに熱量を持つかが大事というご意見があった。そのためいろいろなことに一緒になって挑戦し、公民連携まち再生事業やにのへ型テロワールなどを形にしていこうとしている。今抱える課題がすぐに解決できないとしても、点と点をつなぐ作業を一緒になってやろうとすることから、どんどん変えていかなければならないという思いを込めて、共通政策の「人づくり」「公民連携」を掲げたので、これからもよろしくお願ひしたい。

#### ○久慈会長

その他、皆さんからお気づきの点などありますか。

#### ◇下斗米委員

今回、このような熱のある方々とお会いすることができ、今後につながっていくと期待している。まだまだ熱のある人たちはたくさんいるし、それが全体に広がっていくことが、この計画の成功といえるのではないかな。また、私は土地家屋調査士をしているが、今の国会で、相続登記の義務化について法改正が審議されており、震災復興における問題点である、未相続の土地に関する規定が盛り込まれている。実は今後、相続が進んでいくと増加すると懸念されているのが、所有者がここにはいないという「資産の流出」であり、岩手県はおおよそ 25% に及ぶと試算されている。こういう課題についても、地域に住む人たちが、これからも守り、活用していくという思いで考えていかなければならないと思っている。また、共通政策として掲げた「人づくり」について心配しているのが、一定の住民の方は「人づくり」にアレルギーを持っているということ。年を重ね、立場が変わっていくと、上から目線で物事を捉える人もおり、意見をすると「偉そうに」と言わ

れたりすることがあるので、そう言ったことがないように、市として大きく打ち出していくと進めやすくなると思う。また、「公民連携」は少しわかりづらいところがある。決まった答えがあるわけではなく、地域ごとにオリジナルの課題と成果があると思うので、今後出来上がっていくもので示していくしかない。金田一温泉はそのモデルになると思うし、他にも身近なものがたくさんあると思う。市の建物を民が使うなどというのも、1つの公民連携。計画ができれば、これら2つの共通政策を出して動き出すことが、計画成功のカギとなるのではないかと。

○久慈会長

皆さんからさまざまなご意見をいただいた。行政のほうから追加で答弁があれば。

□総合政策部長

人づくりについては、人材だけの話ではなく、公と民が一緒になってやっていくという考え。例えば、PPPやPFIといったものが挙げられるが、いろいろな手法があり、国がさまざまなメニューを提示する中で、何をやるかというところを明確に検討してきた。天台寺では、ラジオ de ウォーキングなども行ったし、いろいろな形で、同連動できるかということを探し、何を選んでいくかをよく検討する必要がある。また先ほど不動産のお話があったが、空き家バンクについても展開していくことにしているし、いろいろなところで連携しながら次に進んでいかなければならない。また医療については、産婦人科医の再編案などが出されており、大学病院等の応援が変わってきていることから、今後注視していく必要があるため、我々も検討を重ねていかなければならない。

○久慈会長

せっかく市長がいる会議なので、ここで市長に意見を述べたい、という方はおりませんか。

◇戸来委員

二戸に帰ってきて8年になるが、これまではこのような計画があることもわからなかった。今後、この計画に基づき二戸が動いていくということを検討する場に関わらせていただき、ありがとうございました。私も、新型コロナの影響で売り上げが落ち込んでいるので、税収も減ってくるということも考えられる。ぜひ、計画の推進にあたっては、民間を中心としてチェックできる機能を設けてほしい。計画もこの通り行かないかもしれないので、毎年、または半期に1回、進捗状況等をチェックする組織が必要だと思う。また、計画の中でも町内会活動や、駅前の整備が計画に盛り込まれている。建物の取り壊しなどが進み、目に見えて進んできており、我々住民もいよいよかと思っているところなので、ぜひ住民への説明の機会ももってほしい。また、二戸駅はカシオペア地域の玄関口でもあるが、住所である枋ノ木が「こぶのき」と読まれることもあまり知られていない。そこで、まちの名前を「金勢町」にしたいというのが、私の夢。今後、ホテルなども必要になってくると思うし、私が生きているうちにそのような方向に向かえる組織づくりをしていきたいと思っているので、皆さんの力をお借りしながら進めていきたいと思う。

○久慈会長

皆さんからいただいたご意見に対し、ここで市長からお話することはないか。

□市長

たくさん、そして貴重なご意見、ありがとうございます。昨年11月からという短い期間の中で、ご意見をお聞きしながら進めてきたわけだが、やはり何が中心になるかということ、市民の安全・安心に暮らせることが第一だと思っている。そこに、医療や福祉、教育、防災というところがつながってくる。そこはなかなか見えにくい、予算は使われている。その辺の発信が下手なのだろうと思っているところで、区画整理事業についても同じようなことが言えるのではないかと。区画整理事業については、当初270億円だった事業費が400億円まで広がっているが、これまで進めてきたまちづくりを歩いてみていただくというの、必要なのではないかと思っている。また、産業や経済を活発にし、所得を確保していくことが何よりの課題であり、担い手不足に向けても、所得の確保が重要になってくる。その辺は、若い担い手の人たちと話をしながら、所得を上げていくにはどうすればいいか考えているところ。それから、本市には観光でご飯が食べられる人が少ないが、十和田や八幡平と違うので、何で勝負できるか工夫が必要だが、幸い、各団体の皆さんが一生懸命取り組んでくださっているので、一緒に取り組んでいかなければならないと思っているところ。また、人口減少対策の一つとして交流人口の拡大が挙げられるが、そのためには金田一温泉や天台寺、九戸城、そして二戸駅前が本市の重点になってくる。古い宝に磨きをかけて、他にないものをつくり、他から来てもらうという取り組みを公民連携で進めましょうというもの。九戸城周辺でも皆さんに景観について考えていた

だき、桜の木を植えることが決まった。金田一温泉では地域の人たちが、プールを生かして温泉センターを新しくしようというアイデアを出し、地元の若者3人がまちづくり会社を運営している。天台寺では、昨年3回にわたって清掃活動を行い、若い人たちが各地から集まったことで、ボランティアガイドの方々も「こんなに人が集まってくれるなら、これからどんなことをしていこう」と考えるきっかけになった。これらを今後どう生かしていくかが、大きな課題になっていくと思う。また、人づくりという点では、槻蔭舎や会舗社などで学んだ先人の精神を受け継ぐということも考えられる。いずれ、100人いれば100通りの行政があり、一人ひとりに合わせることはできないが、皆さんのご意見をお聞きし、できるだけ反映させていきたい。計画は作って終わりではなく、しっかりと検証をして、前期基本計画についても報告をするための組織も検討している。話を聞くと大変ではないかと思われると思うが、これを解決していけば元気なまちづくりにつながるという考えを持ち進めていきますので、皆さんのご協力をお願いしたい。

○久慈会長

これまで、皆さんからこれまでいただいたご意見なども反映されているので、総合計画後期基本計画案についてはこのとおり、答申することで良いか。

(異議なしの声)

○久慈会長

事務局は、答申書を用意してください

(答申書配布)

お手元に配布したのが答申書の内容です。今後、計画書を製本する段階で、誤字脱字などの軽微な修正があった場合は、私に一任いただくということでよいか。

(異議なしの声)

○久慈会長

それでは、答申いたします。

令和3年1月12日付政第153号をもって当審議会に諮問のありました、第2次二戸市総合計画後期基本計画の基本的事項について、慎重に審議をした結果、別冊のとおりまとめましたので、答申いたします。

□市長

ありがとうございました。

□政策推進課長

ありがとうございました。本計画案につきましては、2月8日に開催されます、市議会臨時会にて提案させていただきますと思います。

○久慈会長

それでは、私から皆さんに一言、お礼を申し上げます。第1回審議会を昨年11月に開催して以来、4回にわたり、委員の皆さんにおかれましては大変、お疲れさまでございました。また、これまで審議会の進行にご協力いただきましたことに、感謝申し上げます。どうも、ありがとうございました。

□市長

本当にありがとうございました。皆さん、委員であるとともに、まちづくりにおけるプレイヤーとして、それぞれの分野でご活躍いただきたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

## 5. 閉会